

東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

TEL 03-5419-6110(広報)

宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96

TEL 0836-31-2111(宇部涉外部)

<https://www.ube.co.jp>





一人ひとりの暮らしの発展に、UBE。

もっと一人ひとりの暮らしが豊かになるように。

もっと社会が豊かになるように。

私たちは独自の技術と
フロンティアスピリットで
豊かな社会を創造していきます。



With

UBE

新しい社名のもと、
持続可能な社会に
貢献するモノづくりに
挑戦していきます。



当社は1897年に「匿名組合沖ノ山炭鉱組合」として創業して以来、機械、セメント、化学へと事業を拡大し、1942年に各事業会社が合併し「宇部興産株式会社」として、80年の歴史を紡いでまいりました。

しかしながら、昨今の事業環境は変化のスピードが一段と速まっており、各事業がその特性に応じて自律的・機動的に企業価値の向上を図っていかなければ持続的な成長は困難になっています。このような中、機械事業、セメント事業をそれぞれ分社化し、2022年4月より、当社本体は化学事業の会社となりました。今後一層のグローバル化を進めるとともに、エネルギー負荷の高い事業構造から地球環境問題の解決に貢献するスペシャリティ事業へ舵を切っていくため、これを機に社名を「UBE(ゆーびーいー)株式会社」へ変更いたしました。

新たな社名を旗印に、UBEグループは常に変化に挑戦するとともに、モノづくりを通じてさまざまな社会課題に対するソリューションを提供し、持続可能な社会の形成に貢献していきます。

今後も皆様の温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

UBE株式会社 代表取締役社長

泉原 雅人

UBEグループ 経営理念

技術の探求と革新の心で、
未来につながる価値を創出し、
社会の発展に貢献します

UBEグループ タグライン・ブランドストーリー

2022年4月、当社は商号を宇部興産からUBEへと改め、化学事業の企業として新たな歴史を刻み始めました。これを機に、当社の提供価値や今後目指す姿を表現したタグラインと、その背景にある思いを表すブランドストーリーを作りました。

UBE Transform Tomorrow Today

今日、この瞬間は、明日へと続いている。
私たちが話したこと、考えたこと、行動したこと。
すべてが、明日の世界を形づくる。
今日を変えれば、明日を変えることができる。

私たちUBEは、サステナブルな明日のために、
地球環境問題の解決に挑む化学の会社へと舵を切りました。

時代の変化に応えるフロンティアスピリットと、
独自の技術力によって、環境貢献型の製品やサービスを開発。
社会が直面する課題の解決をリードし、
豊かな暮らし、地球環境を支えていきます。

Transform Tomorrow Today

今日も、世界のどこかで。
創業以来受け継いできた共存同榮の精神と共に、
私たちは、明日を変える挑戦を続けています。

暮らしのあらゆる場面と地球環境をUBEが支えています。

UBEの製品は、自動車部品やデジタル家電、医薬品、家庭用品など暮らしに身近なものから、インフラ構造物や建築物などの社会インフラの整備まで幅広く活用されています。



コンポジット

ナイロンをはじめ、さまざまな樹脂と添加剤を活用し、お客様要求に応じた高性能樹脂を提供します。FCVの高圧水素タンクライナー用樹脂や、自動車軽量化に寄与する製品を開発し、多彩な用途で独自の付加価値を提供します。



ナイロンポリマー

独自の連続生産技術により安定した品質と幅広い製品を提供します。優れたバリア性と強度から食品包装用フィルムに使用されており、フードロスを削減。リチウムイオン電池包材にも採用されて環境負荷を低減します。



カプロラクタム・硫安

カプロラクタムはナイロン6の原料として使用され、その製造工程で生産される硫安は、窒素肥料として世界各地で農業を支えています。大粒硫安は散布効率が良くドローン施肥等、スマート農業への展開も期待されています。



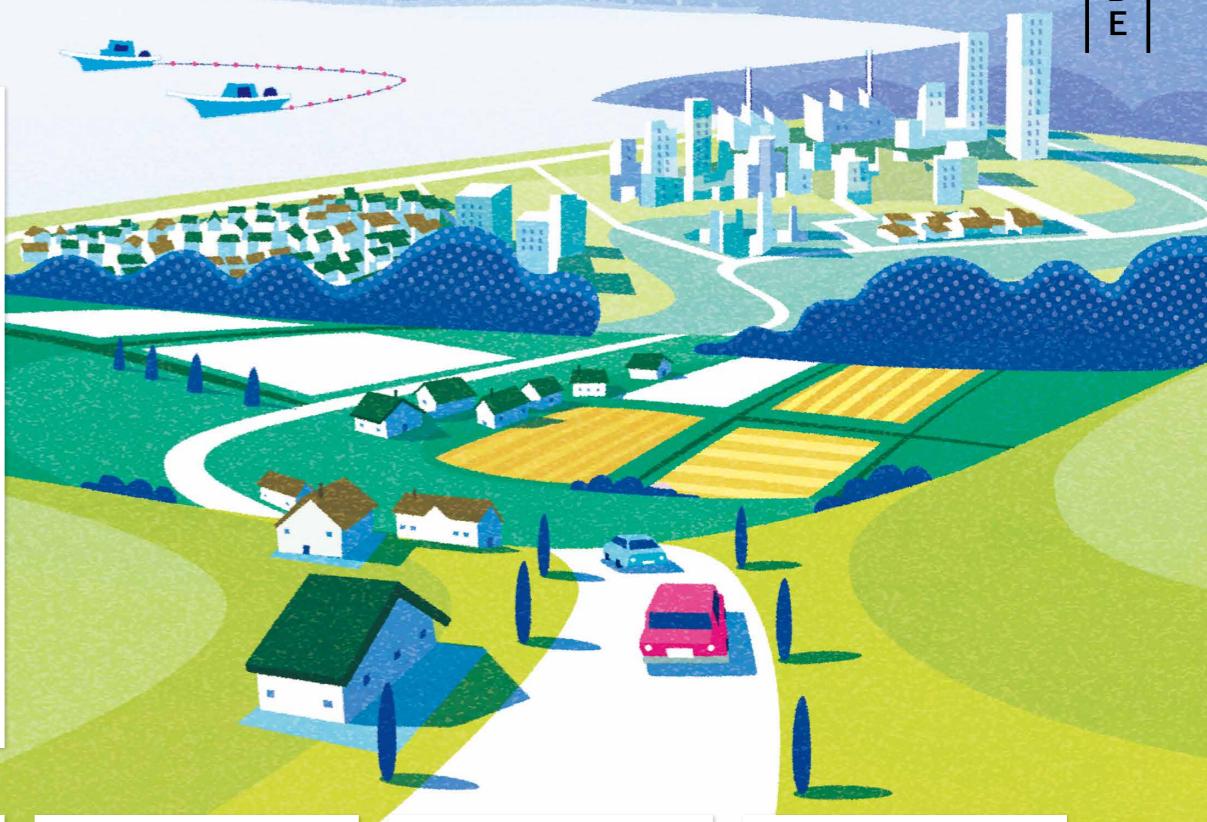
ファインケミカル・工業薬品

高純度硝酸や高純度カテコール、高純度DMCなどを半導体製造プロセス向け薬液原料やリチウムイオン電池用電解液原料として供給し、デジタル化に貢献する数多くのケミカル製品を提供しています。



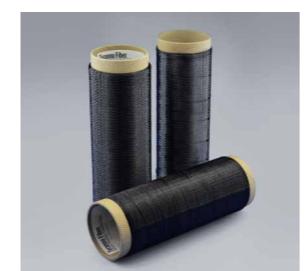
高機能コーティング

車載シートなどに使われる人工皮革や環境負荷の少ない水系塗料などの原料となるPCDやPUDを主力製品とし、グローバル市場を牽引する高付加価値環境貢献型製品を生み出しています。



ポリイミド

ポリイミドは原料のBPDAを自社で製造し、高い耐熱性・電気信頼性を持つワニス、フィルム、パウダーがLCD・OLEDディスプレイ、モバイル機器などで使われています。



チラノ繊維

UBE独自の技術により生まれた「チラノ繊維」は、1,000°C以上の高温にも耐え、航空機の燃費改善につながる部品材料の強化繊維として活用が期待されています。



分離膜

独自技術を活かしたUBEの分離膜。CO₂、H₂、N₂、除加湿などの分離膜が、グリーンエネルギー、防爆、産業用途などに利用されています。



窒化珪素

UBEの窒化珪素は、独自のイミド熱分解法を用いて製造される高品位粉末です。自動車・航空機などに活用されています。



医薬

化学会社ならではの有機合成技術を活かした創薬(自社医薬)や、医薬品の効能のもととなる原薬・中間体の製造を通じて、医療分野のさまざまなニーズに応えています。

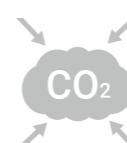
環境貢献型製品・技術開発

UBEは、ISO14001:2015改訂版に記載の「自然環境が組織に及ぼす影響」の項目を基に社内ガイドラインを規定。

(1) 使用段階でCO₂排出低減に貢献する製品の提供

(2) 顧客のサプライチェーンにおけるCO₂削減への貢献(バイオポリマー、リサイクル・再生化学製品の提供)
に取り組んでいます。

1 CO₂・廃プラスチック利活用



資源循環技術開発による脱炭素社会およびサーキュラーエコノミー実現に取り組んでいます。

2 エネルギーマネジメント



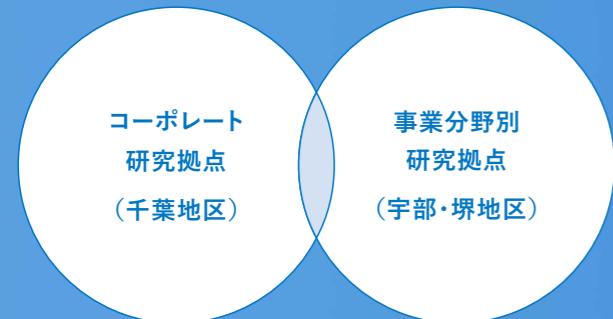
断熱、放熱などの省エネルギー技術開発による脱炭素社会の実現に取り組んでいます。

3 ネイチャーサステナビリティ



生物多様性に配慮しつつ、バイオマスなど天然資源の原料活用の開発・実用化に取り組んでいます。

UBEでは、それぞれの研究拠点で 新規事業創出や地球環境問題の解決につながる 技術開発に取り組んでいます。



主な研究拠点

千葉地区

持続的な成長を可能にする新規事業の創出に取り組んでいます。研究開発領域として「CO₂・廃プラ利活用」「エネルギー・マネジメント」「ネイチャー・サステナビリティ」「ライフサイエンス」の4領域を選定し、研究開発活動に取り組んでいます。



宇部地区

機能性材料および医薬品の研究開発を行っています。機能性材料としてポリイミドやセラミックスを中心に UBE の化学を活かした特徴ある製造技術・設計技術をベースに、工場と連携した材料開発を行っています。医薬品については、UBE 単独で行う自社研究と、製薬メーカーとの協力体制のもとで行う共同研究による創薬研究を行っています。社会に貢献する革新的な医薬品を世に送り出すために常に変革と挑戦を続けています。



堺地区

「マーケティング&イノベーション」をコンセプトとして活動している大阪研究開発センターは、パフォーマンス・ポリマー&ケミカルズ事業部の研究・開発拠点です。タイ・スペイン・米国の製造・開発・営業拠点との連携を図り、グローバル展開を意図した環境対応型の高機能製品の開発を進めています。事業領域にとらわれない研究者同士の交流から生まれる、新規材料の創出やアプリケーション開発を通じてお客様の製品開発・技術課題解決に貢献しています。

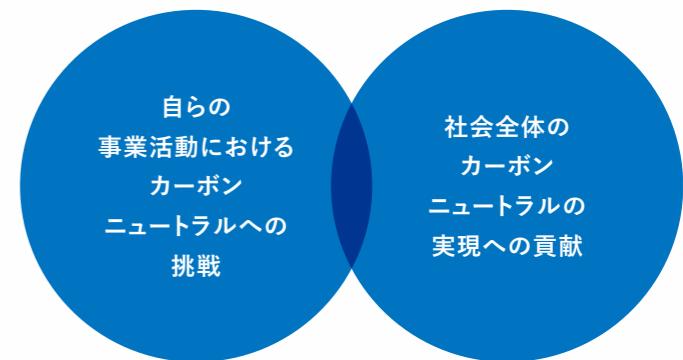


UBEでは、さまざまな サステナビリティへの取り組みを通じて、 社会に貢献しています。

私たちは創業の精神である「共存同榮」とサステナビリティ基本方針にもとづき、サステナブルで皆が豊かに暮らせる社会の実現に向けて一人ひとりの従業員が SDGs や社会貢献に取り組んでいます。

UBE グループ 2050年カーボンニュートラルへの挑戦

UBE グループは、2021年4月26日、「UBE グループ 2050年カーボンニュートラルへの挑戦」を宣言しました。脱炭素社会をリードするソリューションプロバイダーとして自らの事業活動から排出される温室効果ガス(GHG)の実質排出ゼロに挑戦するとともに、環境に貢献する製品・技術に関わる研究開発の推進とイノベーションの実用化により、社会全体のカーボンニュートラルに貢献していきます。



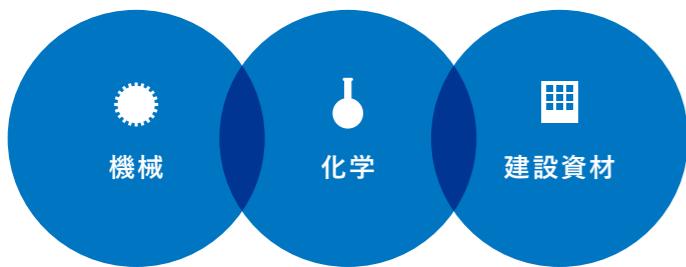
マテリアリティと貢献するSDGs

地球環境問題や UBE の歴史と現在の状況から、UBE グループの持続的な成長に重要な影響を与える成長・環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の4項目のマテリアリティ(重要課題)に対して重点的に取り組んでいます。

	マテリアリティ(重要課題)	UBE グループの取り組み	貢献するSDGs
成長	スペシャリティを中心とした化学事業の成長	安定的に成長できる事業体制の構築	3 持続可能な開発目標 7 経済成長と社会課題解決 9 食糧と農業の持続可能な開発 13 気候変動に適応する社会をつくる
環境	地球環境問題への挑戦	脱炭素社会の実現に向けた取り組みをサプライチェーン全体で実施	7 経済成長と社会課題解決 12 持続可能な消費と生産 13 食糧安全と持続可能な開発 14 海洋資源を守る 15 綿密な水資源管理
社会	成長と革新を担う人材の採用と育成	幅広い視野を持った多様性のある人材を重視	5 ジンデキを実現 8 異なる文化をもつ人々との協力関係 12 持続可能な開発目標
ガバナンス・経営基盤	経営基盤の強化	経営理念と経営方針の刷新、大規模な組織改革	12 持続可能な開発目標



UBEグループは それぞれの分野で多様化する お客様のニーズにお応えしています。



主なグループ会社

宇部マクセル株式会社

【事業内容】

リチウムイオン電池用セパレータに関わる生産、販売、技術開発および研究開発を行っています。



<https://www.ube-ind.co.jp/maxell/>

宇部エクシモ株式会社

【事業内容】

独自の樹脂高度加工技術を活かした樹脂製品や合成繊維、複合材料などの製造、加工、販売サービスを提供しています。



<https://www.ube-exsymo.co.jp/>

UBEマシナリー株式会社

【事業内容】

ダイカストマシンや射出成形機をはじめ、各種産業機械の製造・販売・アフターサービスを展開しています。



<https://www.ubemachinery.co.jp/>

UBEグループではこれまでに培ってきた化学、機械、建設資材の各分野の独自の技術と豊富な実績ノウハウを駆使し、お客様のご要望に総合力でお応えするとともに各分野における新たなビジネスの創造、価値の提供を目指していきます。

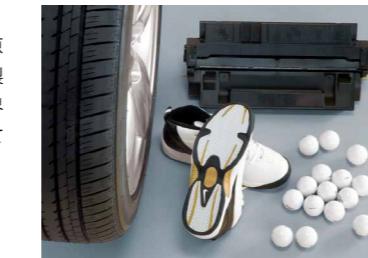
UBEエラストマー株式会社

【事業内容】

合成ゴムおよびその原材料の研究開発、製造、販売を行い、世界各地に製品を供給しています。



<https://www.ube-ind.co.jp/elastomer/>



宇部フィルム株式会社

【事業内容】

家庭用ラップや産業用フィルムなどプラスチックフィルム製品の製造・販売を行っています。



<https://www.ube-ind.co.jp/UBEfilm/>



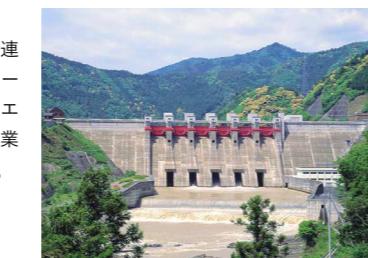
UBE三菱セメント株式会社

【事業内容】

セメント事業やその関連事業である生コンクリート事業、石灰石事業、エネルギー・環境関連事業などを展開しています。



<https://www.mu-cc.com>



UBEは、創業の日から今日まで
フロンティアスピリットを原動力に
成長し続けています。

1897年

山口県宇部の炭田を開発するために、地元の人々が出資して結成した組合からUBEは始まりました。
1897年 匿名組合沖ノ山炭鉱組合設立*

1910年代

1940年代

社会が求める新しい事業を次々に創出し、UBEの礎をつくりました。
1914年 匿名組合宇部新川鉄工所設立*
1923年 宇部セメント製造株式会社設立*
1933年 宇部窒素工業株式会社設立*
1942年 上記4社(※)を合併して宇部興産株式会社設立



沖ノ山炭鉱新鉱

1950年代

第二次世界大戦後は、事業再建や拡大・高度化に速やかに取り組み、社会の近代化に貢献しました。

1960年代

石油化学事業への進出や原料転換など、エネルギー革命への対応を積極的に展開しました。

1970年代

石炭利用再開や、医薬などの新事業を本格化させると同時に、不採算設備の改善も推進しました。

1980年代

円高不況の中、技術開発や事業拡大を着実に行い、スペシャリティ事業の基礎を築きました。

1990年代

創業100年を迎、これからの安定した収益構造実現に向けて、財務基盤改善とグループ経営強化に注力しました。

2000年代

新興国の台頭など、世界規模での競争激化を受けて、新たな成長戦略を積極的に展開しました。

2010年代

他社との協業や事業統合などを通じて、新たなパラダイムに対応する新生UBEの礎をつくりました。

2020年代

グローバル化の推進と、地球環境問題の解決に貢献する、化学主体の会社へ変化していきます。

2022年 建設資材事業を「UBE三菱セメント株式会社」に分社化

UBE株式会社に商号変更



UBE YouTube
公式チャンネル



UBE YouTube公式チャンネルです。
最新テレビCMなどを視聴できます。

<https://www.youtube.com/c/UBEchannel>

